

## 住宅の専門家ホームインスペクター監修

# 電気代も石油価格も値上げラッシュだからこそ 節約に効果大、賢い暖房の使い方

業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う“不動産の達人”株式会社さくら事務所（東京都渋谷区／社長：大西倫加）は、住まいの専門家ホームインスペクター（住宅診断士）監修による自社サイト内コラムにて、家計を圧迫している電気代や燃料価格の高騰を踏まえて、住まいを見直し、暖房費を節約しつつ快適に過ごす方法を公開しました。

## ■概要

暖房費を抑えながら、室内で暖かく快適に過ごすためには、温めた空気が外に逃げないように、外気の冷気が中に入らないようにすることが大切です。

住宅に隙間があると、室内外で空気が移動し暖かさが逃げてしまうので、壁・床・屋根・窓などの隙間を減らす気密性が大切です。家の気密性を高めて、暖房の使い方を工夫し、効率よく家を暖めましょう。



## ■エアコンと換気を上手に活用

暖房器具を使うときには、室内の空気を汚しにくいエアコンやオイルヒーターなどを使いましょう。換気は、家の給気口を開けておくことで、2時間に1回のサイクルで、暖かさを保ちながら家の空気を入れ替えられます。

エアコンを使う時には、サーキュレーターを併用しましょう。設置場所は、エアコンの吹き出し口周辺で、ファンを真上に向けます。エアコンの熱とサーキュレーターの風で、室内の暖かい空気と冷たい空気を混ぜ、天井に溜まる暖かい空気を、自然と部屋全体に行き渡らせることができます。

## ■熱は窓から逃げる

暖房をつけていても、屋根・天井・外壁・床・窓などから約80%の熱が逃げ<sup>\*</sup>、中でも50%もの熱が窓を通じて出入りしています。窓枠にはアルミサッシがよく使われていますが、アルミは熱の出入りがしやすく、ガラスも外の冷気で冷えていますので、省エネ対策には窓の改善が最も効果的です。窓にカーテンを1枚かけるだけでも差があります。

※断熱材を使っていない場合

この他、コラム本文では断熱性に効果的なリフォーム例もご紹介しております。効率的に暖房を使う方法についても、より詳しくご紹介しておりますので、是非当社サイトにてコラム全文をご覧ください。

【コラム全文】 <https://www.sakurajimusyo.com/guide/33973/>

～本件に関するお問合せは、お気軽に下記までご連絡ください～

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <http://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行なう「不動産の達人サービス」を提供、58,000組を超える実績を持っています。

株式会社さくら事務所 東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101 <https://www.sakurajimusyo.com/>  
 TEL 03-6455-0726 FAX 03-6455-0022 広報室：石原・堤・二階堂 [press@sakurajimusyo.com](mailto:press@sakurajimusyo.com)